

## 市民文化の 創造と発信を

富士市長 鈴木清見



新年明けましておめでとうございます。  
 日ごろは、貴重なご意見、ご提言を賜り、また市民一体となった地域活動やボランティア活動により、活力と潤いのある私たちの街富士市を支えていただいておりますことに深く感謝申し上げます。

ことしは、待望の文化会館（ロゼシアター）が開館いたします。新文化会館を拠点として、心豊かでぬくもりのある市民文化の創造と発信が、皆様の手で進められますことを願います。快適で魅力ある富士市のまちづくりのため、皆様のご参加を心から期待いたします。



## 感動を明日 への活力に

富士市議会議長 大塚 登



市民の皆様、明けましておめでとうございます。  
 市政運営に対しましては、日ごろ格別なご理解ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、いよいよ本年十一月には皆様待望の文化会館（ロゼシアター）がオープンします。

市民の皆様には、この新しい会館を市民文化の拠点として活用され、質の高い文化に直接触れながら文化性豊かな心を育んでいただくとともに、その感動を明日への活力としていただき、今後、一層文化の香り高い富士市実現のためにご協力賜りますようお願い申し上げます。

# 秋・ロゼシアターでお会いしましょう



# ROSE THEATRE

## BUNKAKAIKAN OPENING SPECIAL PROGRAM

## 文化会館 オープニング 新春特集

見知らぬ誰かと  
ふとおしゃべりをしたくて…  
そんな時、  
いつも話題は  
『ロゼシアター』のこと



ホールでは世界の一流  
アーティストの演奏を  
お楽しみください。

十一月から十二月の二ヶ月間は『こけら落とし』の期間中。国の内外から多くのアーティストがロゼシアターに集合し、さまざまな演奏や演技を披露します。  
例えば、オーケストラ、クラシックバレエ、演劇、能楽、邦楽、ジャズ、ニューミュージック、演歌などなど。最新の設備で一流の演奏をゆっくり、たっぷりお楽しみください。



ロシア  
キーロフバレエ団

200年の歴史と伝統を誇る、ロシア生粋のクラシックバレエ団

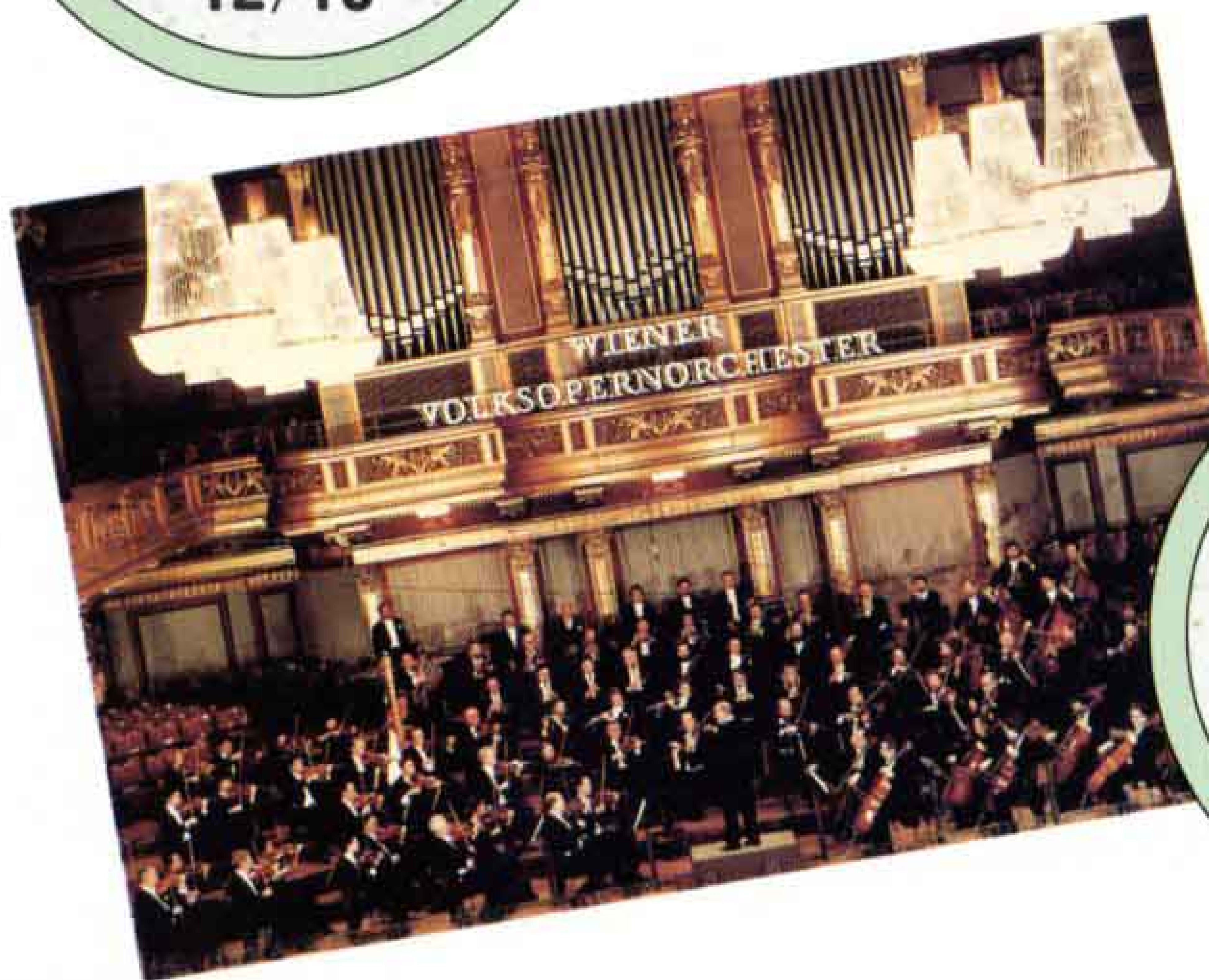
12/15



ヴァイオリニスト  
前橋 汀子

年間100回を超える演奏会を行う、日本を代表するアーティスト

12/3



ウィーン国立  
歌劇場管弦楽団

オペレッタの殿堂フォルクスオーパー歌劇場のオーケストラ

11/1

ことしの秋、11月にいよいよ待望の文化会館（ロゼシアター）がオープンします。さて、そこで皆さんの注目を集めるのが『こけら落とし』のプログラム。

新年号では、このプログラムのさわりの部分を中心に出演者や市民の表情をご紹介します。



▶ 大ホール

僕の仲間と一緒に  
楽しく「富士ルネッサンス」



作曲家  
林 哲司さん

富士市出身の作詩・作曲家でかつ歌手でもある林哲司さんもロゼシアターに登場します。みんなで楽しめるハッピーなステージを企画しているとのこと。早速インタビュー！

作曲家としてのイメージが強いんですが、僕の原点はやはり歌うこと。最近ライブ活動を開始しましたが、客席からの直接の反応がたまりませんね。ライブは生き物です。文化会館のステージ（十二月二十六日）もふれあいをテーマに皆さんに参加してもらいたいと思っています。例えば僕の友人である作詞・作曲家、アーティストなどを大勢呼んできて、皆さんとビートルズナンバーなんか一緒に歌ったりしてね。米国では一つの都市に、その都市独自の音楽があるんです。これからは、街の音楽や芸術を育てていく時代ですね。富士市でも、生活と芸術のふれあいのバランスをとりながら、みんなの文化が広がってほしい。ロゼシアターのオープンが、そのきっかけになればと、ステージ名を「富士ルネッサンス」としました。

林さんの曲には、「悲しみが止まらない」、「悲しい色やねん」、「北ウイング」など多くのヒット曲があります。もちろん「富士サンバ」もその一つです。



# 展示室では、ゆっくり 芸術品をご鑑賞ください



## 海と山からの メッセージ伝えたい。

### 木版画家 牧野宗則さん

展示室では、平山郁夫（日本画）展、牧野宗則（木版画）展、郷土の作家展などを行います。  
富士山に魅せられ、アトリエを十里木に構えて創作に励んでいらっしゃる牧野宗則さんを訪ねました。

牧野宗則さんのアトリエは、周りを雑木林に囲まれた十里木の一角にあります。アトリエをここに構えたのは、「富士山の状態を、いつでも身近に観察できるから」と、富士山に寄せる思いは人一倍です。

作品の中心になっているのは、有明海と並んで、この富士山。海や山の自然の営みが、風景版画のモチーフになっています。

「自然の営みは、人間の認識をはるかに越えて限りなく広がっています。自然界の中では、私たちが一生物にしかすぎず、自然に対する敬けんな気持ちを忘れてはならないと思っています。

自然は、いろいろなものを内蔵しています。例えば富士山。その美しい姿の中に、穏やかさや豊かさ、激しさや厳しさ、無限の広がりや奥深さを感じます。陽の光、風の音、木の香り、土

のにおいの中に自然の生命の輝きを感じる時、生きている喜びや幸せを知らされます。

私は、自分の絵の中にこの感動を表現したいのです。人間にとって大切なものは何なのか、目に見える美しさだけでなく、心で感じる美しさの核心を確かめたいと願っています。

人は本来もっと優しいはずなのに、毎日忙しく頑張り過ぎていて、つい、自分の持っている優しさや心の豊かさを忘れてしまっているようです。

音楽でも絵でも、よい出会いは人に喜びと勇気を与えてくれます。私の描いた作品の中から、自然の中にある美しさとともに、豊かな人生を生きるのに大切な、心の中に満ちてくる感動の真理を共有していただけたらととてもうれしいのです。そういう仕事をしたいと願っています」



▲中ホール



▶小ホール

# 私たちは、人形オーケ ストラでデビューします

もちろん、市民の皆さんのステージも用意されています。コンサートや演劇、展示など多彩な文化活動が披露される予定です。そんな市民の皆さんの文化活動に彩りを添えるのが、ガレリアの特設会場でデビューする人形オーケストラ。団員の皆さんの人形づくりも最後の追い込みです。  
富士公民館で情報交換をしながら人形づくりに励んでいる皆さんも、やる気満々。中には、あまりの出来ばえに手放すのを迷っている人もチラホラだとか……？



▲人形の仕上がりも上々です



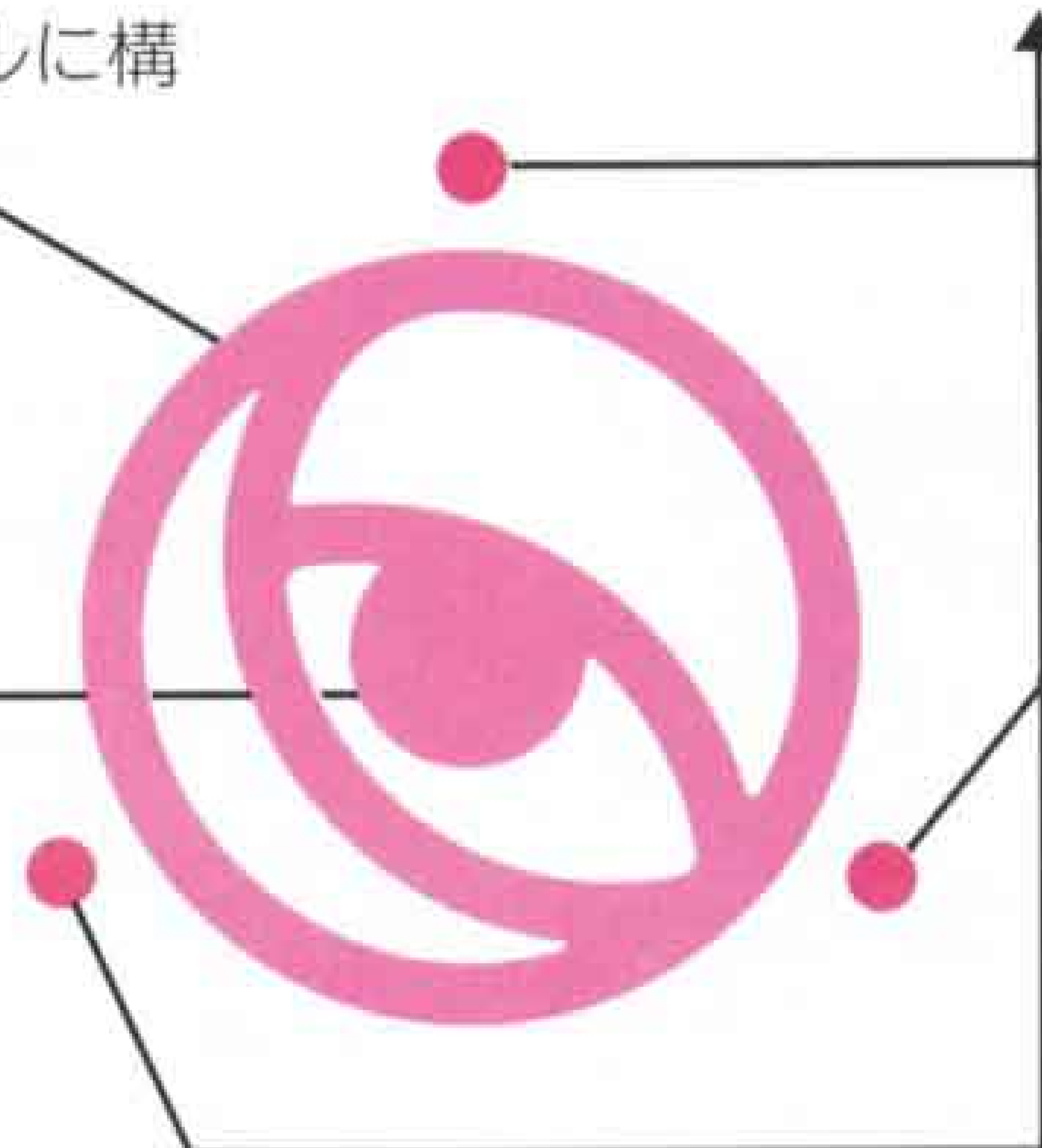


文化会館の  
**シンボルマーク**  
SYMBOL

シンボルマークは、バラの花をモチーフに「新しい市民文化の発展と広がり」をシンプルに構成しています。

3つの点は富士山を表し、同時に①市民（人）②街（産業）③自然を象徴し、バランスを保ちながら連帯と調和を意味します。

中央にある大きな丸は、未来を見つめる眼とともに文化を表現しています。



**クイズで  
当てよう**

**シンボルマーク入り  
テレホンカード**

クイズはすべて文化会館にちなんだ問題です。文化会館博士のあなたならわかるはず!? さあ、クイズにチャレンジしてテレホンカードをもらおう

**Q1**

文化会館の愛称は…

「□□シアター」

**Q2**

オープニングイベントに出演予定の林哲司さんは、中森明菜、杏里などの作曲家として有名ですが、富士サンバの作曲家でもある

① ○ ② ×

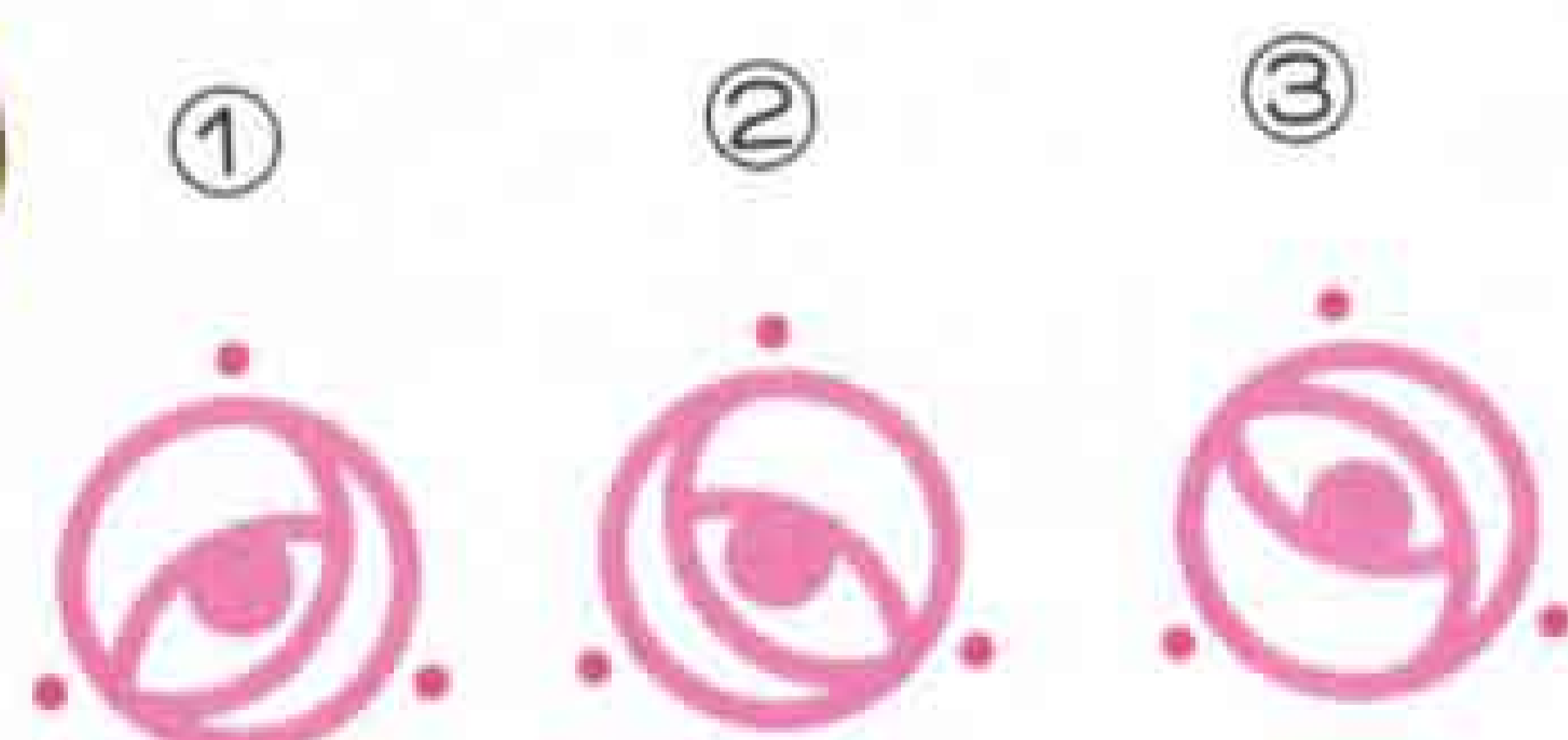
**Q3**

文化会館は平成5年11月にオープンする

① ○ ② ×

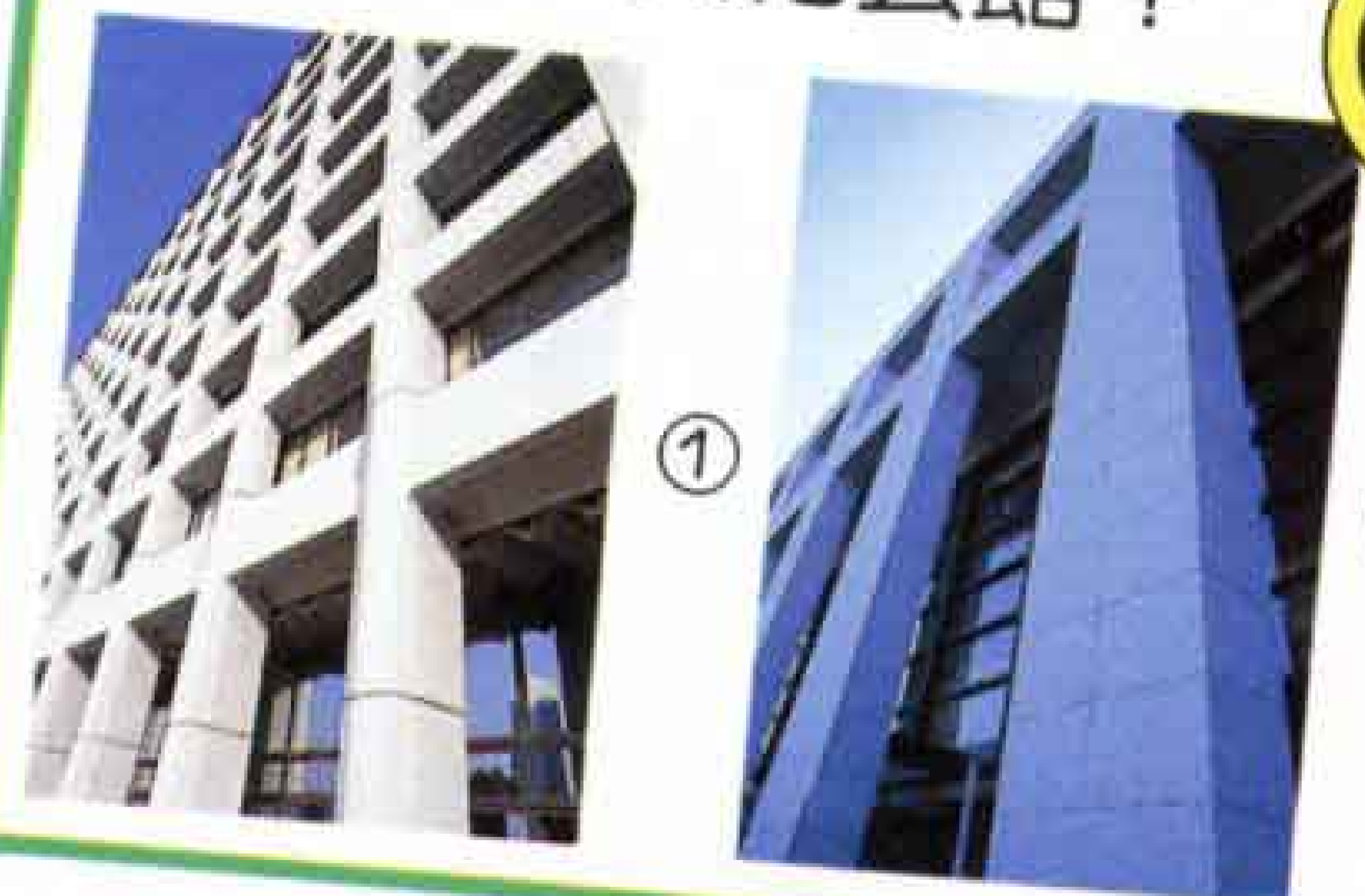
**Q4**

文化会館のシンボルマークは…



**Q5**

どっちが文化会館?



■応募方法■

はがきにクイズの答えと、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書いて、〒417 市内永田町1-100 富士市役所広報広聴課へ

■プレゼント■

正解者の中から抽選で30人に、ロゼシアターのシンボルマーク入りテレホンカードをお送りします。

■締め切り 平成5年1月30日必着■

平成5年1月4日から  
**文化会館の  
貸し出し受付  
を開始します**

平成6年1月から文化会館の大・中・小ホールを貸し出します。貸し出し受付は平成5年1月4日から、富士市文化振興財団で行います。(平成6年1月分)

★料金などの詳しいことは平成5年1月20日号の広報ふじでお知らせします。

問い合わせ 富士市文化振興財団  
(市役所8階) 内線2813